

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ & A

R7.9 作成

問1 SFTS（重症熱性血小板減少症候群）とはどんな病気ですか？

→ SFTS ウイルスを持ったマダニに咬まれたり、感染した動物の血液、唾液、尿、便などに直接触れたりすることによって感染する病気で、ヒトも動物も感染する人獣共通感染症です。

マダニは家ダニとは違うので、屋内だけで飼育されている犬や猫は基本的に SFTS ウイルスに感染する心配はありません。

また、健康なネコやイヌからヒトが SFTS ウイルスに感染した事例はこれまでに報告されていません。

問2 犬や猫が感染すると、どんな症状がでますか？

→ 猫の場合は、熱が出て元気がなくなり、食欲が低下して、吐いたり、尿の色が濃くなることがあります。

犬の場合も猫と同じような症状が見られるほか、下痢や血便がでることもあります。が、症状が出ないことも多いです。

あっという間に重症になって、感染した猫の約 60%、犬の約 40%が助かりません。

散歩など外に出た犬や猫に発熱、元気がない、食欲がない、尿が黄色になるなどの症状がでたら、すぐに動物病院に電話で相談してください。

問3 ワクチンや薬で予防はできないのですか？

→ 今のところ、動物用のワクチン、予防薬、治療薬もありません。熱や下痢などの症状をやわらげる薬を投与するしかありません。そのため、マダニに咬まれないようにすることが重要です。

もしもペットの体にマダニがついていたら無理にとろうとせずに、すぐに動物病院に相談してください。

問4 ペットが感染しないためにはどうしたらよいですか？

→ マダニ類は SFTS 以外にも犬や猫等、動物に対する感染症の病原体を持っている場合もありますので、ペットがマダニに刺されないようにすることが大切です。ペット用のダニ駆除剤等がありますので、動物病院に相談してください（1ヶ月に1回、定期的に投与することでマダニ駆除が可能）。

散歩後にはペットの体表をチェックし、目の細かい櫛でブラッシングをすることも効果的です。

問5 ペットにマダニが付いていたのですが、そのマダニを介してヒトが SFTS にかかることはありますか？

→ ペットに付いているマダニに触れたからといって感染することはありませんが、マダニに刺されれば、その危険性があります。

問6 ヒトが感染しないためにはどうすればよいですか？

→

【マダニからの感染予防】

マダニは草むらや山林にることが多いので、このような場所に入る際には特に注意が必要です。肌を露出しないようにしましょう。人用の虫よけスプレーはマダニに効果がある「ディート」「イカリジン」という成分が入ったものをおすすめします。

帰宅したら、上着や作業着は外で脱いで、シャワーや入浴で体にダニがついていないか確認しましょう。

【動物からの感染予防】

感染した動物に咬まれたり、感染した動物の唾液、尿、便に直接触れたりすると SFTS ウイルスに感染することがあるため、感染した疑いがある場合はマスクや使い捨て手袋をしてお世話をするなどの予防が必要です。

動物由来感染症に対する予防の観点からも、動物に触ったら必ず手を洗いましょう。動物を飼育している場合、過剰な触れ合い（口元を舐めさせたり、食器を共有したりすることなど）は控えてください。

問6 犬や猫の SFTS 検査はできますか？

→ 動物病院に相談してください。

なお、検査の実施については獣医師の判断になります。